

第13回山形市中心市街地活性化戦略本部会議議事録

- 1 開催日時 平成31年2月19日（火）午後3時30分～4時10分
- 2 会場 山形市役所 大会議室
- 3 出席者
 - (1) 本部員6名

山形市長		佐藤 孝弘
山形商工会議所	会頭	清野 伸昭
山形市中心商店街まちづくり協議会	会長	船山 隆幸
山形青年会議所	理事長	手塚 孝樹
山形大学	教授	山田 浩久
城下町やまがた探険隊	代表	新関 芳則
 - (2) 山形市中心市街地活性化戦略推進コーディネーター
まちづくりプラン研究所 代表 牧 昭市
 - (3) 事務局15名
商工観光部長、山形ブランド推進課長、山形ブランド推進課課長補佐、
街なか・商業グループ員（4名）、山形銀行派遣職員、山形商工会議所（5名）、
山形商工会議所まち賑わい委員会委員長、山形市中心商店街街づくり協議会幹事
 - (4) 調査実施機関2名
(株)山形街づくりサポートセンター社長、山形市中心市街地活性化事業部長
- 4 傍聴者
記者：5名
- 5 内容
 - (1) 協議
 - ・平成31年度より協議会で実施していく戦略プロジェクト（案）について
 - ・新たなまちづくり組織について
 - ・山形市中心市街地ランドデザインの最終決定について
- 6 資料の名称
 - ・資料1 平成31年度より協議会で実施していく戦略プロジェクト（案）について
 - ・資料2 すずらん商店街におけるモデル街区パース図
 - ・資料3 新たなまちづくり組織について
 - ・資料4 山形市中心市街地ランドデザイン（案）

7 議事録

(1) 開 会 (山形ブランド推進課長)

(2) 山形市長あいさつ

(3) 議事録署名人の指名 (本部長)

山田 浩久 本部員

新関 芳則 本部員

(4) 協 議

座 長 平成31年度から実施していく戦略プロジェクトの内容や新たなまちづくり組織の名称についてご意見をいただく。そのご意見を踏まえ、グランドデザインの最終決定を行いたい。まず、平成31年度より協議会で実施していく戦略プロジェクトの案について戦略本部事務局より説明をお願いします。

事 務 局 資料について説明。
(約18分)

座 長 協議会で実施していく内容の方向性がさらに具体的に、また、すずらん街においてはパース図も出てきたということで、こうした事業を、新たなまちづくり組織として設立する協議会において推進をしていくことになる。これらの内容について意見をいただきたい。

本 部 員 今年度から、やまがた街なか出店サポートセンターで、賃貸物件の紹介などが始まっている。自分の商店街では、おかげさまで飲食店の引き合いが多いが、貸し手側の意識として「貸したくない」という地権者が多い。ぜひ今年度の実績を報告し、来年度地権者の方の意識を改革しながら新しい優良テナントがどんどん入るように出店サポートセンターに活動していただきたい。

座 長 このような課題は山形に限らずあるという話だが、今時点でサポートセンターからコメントがあればお願いします。

街 づ くり サ ポ ー ト セ ン タ ー 地権者の方と話した中で、「今は住んでいるだけだから貸したくない」という方が一定数いるのも実情。入店したい人が10人以上待っている状況もあるので、うまくマッチングできるように、これからも交渉していきたい。

コーディネーター 自身の土地に自身のビルがある場合、1階・2階はテナントで3階が住宅というのが一般的。資料2のペースで作ったときに、この上に住むことも可能だが、それがいいかどうか。他都市を含めて、こういう建物とは別に高齢の地権者がまとまって住むことができ、1階はクリニックが入っていて、高齢者でも安心して生活ができるような、住まいを集約するかたちで再形成する仕組みが増えている。すずらん街においても、そういう提案も進め、住まいの不安を解消しつつ開発やリノベーションが実行できるような提案を随時していければ。

座長 私からも1点お聞きしたい。キャッシュレス化について、どのような進め方があるのか教えていただけるか。

コーディネーター 山形市を含めて10市が2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合の「インバウンド×キャッシュレス地域経済活性化最先端モデル事業」に選ばれ、山形では観光地である山寺を中心にキャッシュレス化を進めていく流れ。

山形に来ると現金が必要。首都圏や地元大分で生活をするうえでは、財布に現金が必要ないくらい店舗のキャッシュレス化が進んでいる。山形の商店街もクレジットカードの対応は一定に進んでいるが、1,000円、2,000円ぐらいの決済は現金が圧倒的に多い。外から来る方々をより観光で取り込んでいこうとすると、キャッシュレス化に対応していく必要性がある。

山寺に足を運んだ方々が、同様の決済の仕組みで中心市街地でも支払いを可能にできないかということで、金沢に視察に行く計画がある。金沢のまちづくり会社が先んじて、山寺に導入する予定のキャッシュレス対応の端末を全市的に配布している。加えて、端末で決済された金額に応じ、ペイバックとして手数料が戻ってくる仕組みを構築された。山形でも山寺から中心市街地も含めて同様な仕組みを構築し、それらをより多くの方から活用いただければ最適ではないかということで視察に行く。

お金の使い方、渡し方が大きく変わってきており、そういったことに対応していく必要性がある。

座長 今日いただいた意見も踏まえて今後事業展開を行ってみたい。

協議事項2つ目、新たなまちづくり組織について戦略本部事務局から説明をお願いします。

事務局 資料について説明（約2分）

座長 協議会の名称について提案があった。仮称のものだと、これから進めていくうえで書きづらい・言いづらい部分はあるかと思う。ランドデザインの一つのアプローチである「エリアマネジメント」というものをそのまま名前にしているということだと思うが、皆さんいかがか。

本部員 この会そのものがアプローチの段階でエリアという一つのポイントで成立した経緯があるので、そのマネジメントということであれば明快でよろしいのではないか。

本部員 同意見である。

座長 名称については、「山形エリアマネジメント協議会」とさせていただきたいと思うがよろしいか。

本部員一同 異議なし。

座長 ランドデザイン中の表記も全て置き換えさせていただく。最後の協議事項として、本日の協議で決まった今の名称等も含め、それを反映させた内容をもってご承認いただき、ランドデザイン策定とさせていただきたいと思うがよろしいか。

本部員一同 異議なし。

座長 ご承認いただきありがとうございます。この内容にて「山形市中心市街地ランドデザイン」として策定となる。2年にわたる協議、本当にありがとうございます。非常に前向きでこれからの将来像が楽しみになってくるようなランドデザインになったと思う。
その他、戦略本部事務局からお願いします。

事務局 山形エリアマネジメント協議会の設立総会を、3月26日（火）14時30分から16時に山形商工会議所5階大ホールで開催予定。
次回戦略本部会議は、6月を目途に開催予定。

座長 今年度の戦略本部会議は今回で最後となる。来年度からはランドデザインの具現化に向け、先ほどの体制にて戦略プロジェクトを推進していく。今後の戦略本部会議では、事業の進捗

状況を適宜共有するとともに、事業展開を円滑に行っていくための協議の場とし、新たな戦略プロジェクト等についても議論していく場とさせていただきたい。本部員の皆様におかれては、引き続き活発なご議論やご提案をいただき、今後の中心市街地活性化にご協力をお願いしたい。

(5) 閉 会 (山形ブランド推進課長)